

資料No 5

# 第2次三条市農業活性化プラン

## 平成26年度 実施計画一覧表

上期

平成26年度 第2次三条市農業活性化プラン 実施計画の中間報告

1 新たなビジネスモデルの創出

事業名	担当課等	計 画	進捗状況	評価	反省及び課題
三条産米ブランド 販路開拓事業	農林課 営業戦略室	<p>対 象:首都圏の学校及び対象地の家庭 内 容:流通コストを低減し、首都圏等における学校給食米への三条産米の販路開拓を進める。 実施日:4月～3月 目 標:流通コスト低減の仕組み検討、パッケージの作成、流通拡大</p>	<p>・5月7日、8日:荒川区、調布市、横浜市の各学校(全11校)を訪問し、三条産米の利用促進を依頼した。 ・5月30日:調布市立滝坂小学校へ出前授業(バケツ稲づくり)を実施 ・6月6日:荒川区立尾久宮前小学校へ出前授業(バケツ稲づくり)を実施 ・8月27日:荒川区学校給食食育部(栄養士40名)へ出前授業(米作りについて)を実施し、三条産米の採用依頼とともに農産物PRを実施 ・9月13日～14日:荒川区立第二峡田小学校4・5年生(児童22名+教職員等7名)を招き、北五百川地内で稲刈り体験を実施</p>		
海外販路開拓支援事業	農林課	<p>対 象:市内農業者、三条産品を扱う流通事業者 内 容:販路確立を成果目標とし、東南アジア等の有望需要国における販促活動に係る経費の一部を支援する。 実施日:6月～2月 目 標:一つの販路を確立する。</p>	<p>事業実施者を募集するとともに、個別の調整を行っている。</p>		
6次産業化等の支援事業	農林課	<p>対 象:園芸農家ほか 内 容:「売れるものづくり・売れるしくみづくり支援事業」や国の「経営体育成支援事業」等を活用し、農産物加工品の商品開発、新規作物導入などの取組を進め、農業の6次産業化や、農業経営の複合化を図る。 実施日:随時 目 標:6産業化取組農業者の出現</p>	<p>【取組事業】6次産業化促進事業 【申請件数】0件(相談4件) 【相談内容】現在までに申請には至っていないが、果樹の加工品(ジェラート)パッケージ作製、販促のための広告看板や、販促活動等の経費としての活用に向けた相談があり調整中である。</p>		

平成26年度 第2次三条市農業活性化プラン 実施計画の中間報告  
2 新たな日常販路の確立

事業名	担当課等	計 画	進捗状況	評価	反省及び課題
庭先集荷流通事業	農林課	対 象:集荷運営団体 内 容:出荷手段がなく、自家消費や廃棄などで流通しなかった農産物を集荷運営団体が生産者に代わって集荷を行い流通させて、直売所などで販売する。 実施日:通年 目 標:2団体	【取組団体】特定非営利活動法人:1団体 【取組期間】7月末～3月末(予定) 【集荷先及び回数】市内一円 週1～2回 【販売先】下田道の 駅彩遊記 【その他】 昨年度に引き続き、1団体が事業を継続実施。新たな生産者の掘起しを行うとともに、集荷物を彩遊記へ納品		
振り売り支援事業	農林課	対 象:振り売り実施者 内 容:定期的に軽トラックに米、野菜や果物などの農産物の移動販売、いわゆる振り売りを実施する農業者に対して、初期費用や運営費用(燃料費)に係る経費の一部を支援する。 実施日:通年 目 標:5件程度	【取組者内訳】 野菜生産者:1名 果物生産者:2名 計3名 【販売先等】 市内各所への移動販売の他、JA軽トラ市への参加、市内各イベントへの参加、市外への移動販売等		
規格外農産物の有効利用の推進	農林課	対 象:農業者 内 容:規格外として流通に回らない農産物をカット済み野菜などの加工品にすることで利用を図り、農業者の所得向上へつなげる。 実施日:通年 目 標:関係団体等と方策を協議し、次年度以降の運用を目指す。	6次産業化と併せて規格外農産物を活用した加工品開発について関係者と協議を行っている。 また、農産物直売所においても漬物などの加工品への利用に向けた推進を行っている。		
市場ピッキングセンターと連携した流通の促進	農林課	対 象:市内農業者 内 容:農業者が直接青果市場に農産物を持ち込み、市場に流通させることができる「市場ピッキングセンター」の活用を促進し、地産地消と農業者の所得向上につなげる。 実施日:随時 目 標:三条産農産物3品目	小売店への流通の仕組みについて、三条中央青果卸売市場と協議を継続している。		
医療・福祉施設等の三条産農産物利用の促進	農林課	対 象:市内病院、産院、福祉施設等 内 容:病院、福祉施設等の食事に安全・安心な三条産農産物の利用を促すことで、入院者等の健康増進と生産者の所得向上を図る。 実施日:通年 目 標:農業者との連携施設の出現	戸別に関係事業所を訪問し三条産農産物の利用促進を依頼した。 【訪問先】高齢者施設、福祉施設 計2施設 農産物展示会の案内を文書で通知した。 内訳:病院10、高齢者施設42、福祉施設30 計82施設 開催日:第1回9/1(月)・第2回10/20(月)		

平成26年度 第2次三条市農業活性化プラン 実施計画の中間報告

3 より質の高い農産物の生産

事業名	担当課等	計 画	進捗状況	評価	反省及び課題
土づくり・良質堆肥利用の促進	農林課	<p>対 象: 三条市内農家・家庭菜園実施者                      内 容: 完熟堆肥センター製造の堆肥使用による高品質、かつ、健康増進に資する農産物生産のための土づくりや、良質堆肥利用に係る講演会の開催、土壌診断を実施するなど、適正な施肥指導を行い、農産物の品質向上と、生産出荷拡大を目指す。                      実施日: H26.4～H27.3                      目 標: 堆肥60t、農家・家庭菜園実施者100人</p>	<p>【取組対象者】農家: 家庭菜園実施者                      【取組期間】7月13日～10月末                      【内容】                      ぼかし肥作り講習(7月13日)13名、150kg                      有機的大豆栽培(7月13日～10月8日)3人</p>		
有機栽培・県認証特別栽培米の推奨	農林課	<p>対 象: 全農業者                      内 容: 高品質で健康増進に資する農作物生産の取組拡大                      実施日: 通年                      目標値: 有機農業取組面積 平成24年21.17ha→平成27年30ha、農薬・化学肥料5割低減特別栽培取組面積 平成24年506.98ha→平成27年600ha</p>	<p>【取組対象者】有機農業連絡協議会・三条市学校給食栽培会・恵呼倶楽部                      【取組期間】通年                      【内容】有機農業取組面積 平成26年25.7ha、農薬・化学肥料5割低減特別栽培取組面積 平成26年470ha</p>		

平成26年度 第2次三条市農業活性化プラン 実施計画の中間報告

4 地場農産物への愛着強化

事業名	担当課等	計 画	進捗状況	評価	反省及び課題
地産地消推進店認定事業	農林課	対 象:地場農産物等を積極的に取り扱う市内の小売店及び飲食店等 内 容:認定基準に該当した地場農産物等の産地区分に応じて階級を付して、推進店として認定 実施日:随時 目標値:H26年度新規登録15店以上	H26年度新規登録目標件数…15店以上 (H26年7月末現在認定店舗数:161店舗) (認定取消:0店舗) (新規認定店舗数:5店舗)		
地産地消ラベルシール推進事業	農林課	対 象:三条産農産物 内 容:三条産農産物の印「ボナペティシール」を普及させ、生産者、消費者への地産地消の意識啓発を図る。 実施日:随時 目 標:H26年度シール配布数80万枚以上	地産地消シール作成枚数:80万枚。 配布枚数:634千枚(9月末現在)  健康マイレージ制度と連携し、シールのポイント化を継続実施。併せてマイレージ手帳の配布を行い、制度の周知とともに手帳の利用者増加と、地産地消への意識啓発を実施する。		
農産物展示会 (旧:地産地消フェア推進事業)	農林課	対 象:市内実需者 内 容:地場農産物の魅力を発信し、農業者の販路開拓と地域内需要の発掘、関係構築並びに地産地消の推進を図るため、地元農産物の利用を促進するイベントを開催する 実施日:10月 目標値:1回開催	【開催日】平成26年9月1日・10月20日 【会場】三条東公民館 【内容】地場農産物やその加工品の展示・商談・交流・名刺交換会など 9月1日:農家13人、来場者80人 10月20日:農家13人、来場者100人 【対象】市内飲食店、ホテル・旅館、病医院、施設等		
市民団体との連携	農林課	対 象:三条まんま塾 内 容:三条まんま塾等関係団体が実施する取り組みを支援し、三条産米や旬の地元野菜等の活用を推進していくほか、品質、鮮度の向上、健康の増進等、市民からより求められる農産物づくりなどを目的とし、農業者が団体と交流、連携を図る。 実施日:通年 目 標:事業参加目標人数 500人	(1)総会 5/24・研修会(総合福祉センター)映画館紹介「ガイアシンフォニー」80人 (2)気軽に農業体験対象 実施日 5/9～9/27まで延べ15回 参加者 延べ30人 体験内容 田植え、キャベツの収穫、ブドウの房作り・袋かけ、トマトの袋詰め、ほうれん草の収穫等 (3)じゃがいも収穫体験 6/15 参加者40人 (4)食と農で元気アップ講座①8/10(川から学ぶ米の価値) ※台風10号による影響で中止 (5)農産物展示会 9/1(再掲)		

平成26年度 第2次三条市農業活性化プラン 実施計画の中間報告

5 意欲ある農業者の支援・育成

事業名	担当課等	計 画	進捗状況	評価	反省及び課題
農業担い手育成塾の創設	農林課	<p>対 象:市内に住所又は事業所を有する農業者、任意団体の場合は事務局が市内に有り、構成員の過半が市内に住所を有する団体</p> <p>内 容:農産物の「販売実践」のノウハウ又は「品質向上」のノウハウを身につけ、農業経営発展を図る。</p> <p>実施日:H26.6～H27.3</p> <p>目 標:受講者の農業経営発展とこうした農業者の輩出による他の農業者への刺激による活性化(販売実践コース10人、品質向上コース10人)</p>	<p><b>販売実践コース:</b>参加者5人 (6月23日～平成27年3月まで全13回開催)</p> <p>内容:売上アップの施策、PRツールの作成、インターネットの活用、営業力強化の施策など</p> <p><b>品質向上コース:</b>参加者を募集したものの、希望者なしのため今年度は開催しない</p>		
農業者グループ研究支援事業の創出	農林課	<p>対 象:市内に住所又は事業所を有する5人以上の農業者グループ、任意団体の場合は事務局が市内にあり、構成員の過半又は5人のいずれか多いほうが市内に住所を有するグループ</p> <p>内 容:農業経営の改善や農作物の品質向上等、農業者等が組織する団体が自主的に行う研修や研修等</p> <p>実施日:H26.4～H27.3</p> <p>目 標:農業者がグループで自主的に行う研究等により農業経営発展や良質な農産物生産に資する(4団体)</p>	<p><b>事業実施団体数:</b>1団体(ほかに2団体検討中)</p> <p><b>事業実施内容:</b>集落内農地の維持・農業の継続に係る意見交換会1件(検討中:ぶどう栽培技術向上1団体、和なし栽培技術向上1団体)</p>		
人・農地プランの推進	農林課	<p>対 象:市内農業者や市内経営耕地がある市外農業者</p> <p>内 容:地域農業の将来を話し合いを元に人・農地プランを作成し、プランに基づいて担い手の確保・育成や農地の保全を図る。</p> <p>実施日:H26.4～H27.3</p> <p>目 標:農業の担い手への農地集積や新規就農者の確保に資する。市内全域で作成(176集落、センサスペース)。</p>	<p>人・農地プラン作成推進状況</p> <p><b>平成24年度末:</b>5プラン、23集落をカバー</p> <p><b>平成25年度末:</b>8プラン、101集落をカバー</p> <p><b>平成26年度末:</b>7プラン、51集落をカバー予定</p> <p>(H26に市内全176集落で作成予定)</p>		

事業名	担当課等	計 画	進捗状況	評価	反省及び課題
直売所間連携の構築	農林課	対 象:直売所運営団体 内 容:個々に営業している直売所同士をつなぎ、ノウハウ等の共有や連携体制をつくる。 実施日:随時 目 標:情報交換会の開催	連携体制の構築に向け関係者と協議を進めるとともに、地産地消推進店認定制度を活用し、直売所を推進店として認定する。 情報発信としてガイドマップ(A4版、カラー印刷、20ページ、10,000部、12月完成予定)に掲載し広くその存在のPRを図る。		
次世代農業教育事業	農林課	【学校教育田の実施】 対 象:市内21小学校 内 容:協力農家と一緒に田植えから稲刈りまでの作業を体験し、農業や米に対する理解を深めてもらう。 実施日: 5月～11月 目標値:参加児童全員から作業を体験してもらう。	市内19小学校の小学5年生を対象に田植え、稲刈りの農作業を体験してもらった。 生産された米は各小学校の行事等で活用してもらう。		

H25第2次農業活性化プラン実施状況(H2606審議委員送付用).xls の互換性レポート  
2014/6/10 17:17 に実行

このブックで使用されている次の機能は、以前のバージョンの Excel ではサポートされていません。このブックを以前のバージョンの Excel で開くか、以前のファイル形式で保存すると、それらの機能が失われるか、正常に実行されなくなる可能性があります。

**機能の大幅な損失**

**出現数**

このオブジェクトに適用されている効果が解除されます。このグラフィックの境界線からはみ出たテキストは表示されません。

2

[表紙'A1](#)

バージョン

Excel 97-2003